

特 記 仕 様 書

第 1 章 総 則

第 1 節 用

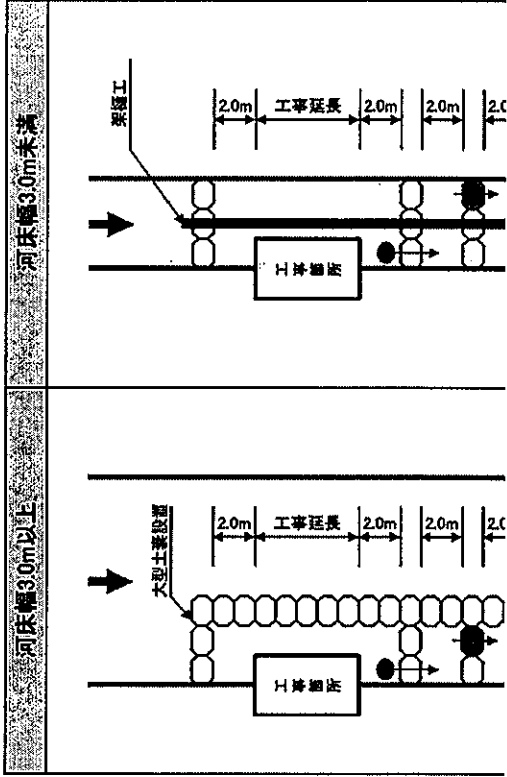
- 1 本特記仕様書は、市道酒河62号線道路修繕工事に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（平成27年4月 広島県）【令和3年8月一部改定】
- ※土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載されている。
URL:<http://choutatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>.
・その他関連規格類

第 2 章 施工条件

第 1 節 公害対策

1 濁水・湧水処理

- 1 本工事では濁水処理（沈砂池）の施工を見込んでいる。当施設は、任意仮設とする。
- 2 下記の図を標準とするが、これによらない場合も同等の施設を施工する事とし監督職員の了解を得て工事着手すること。
- 3 漁業権設定区域内の箇所もしくはその区域内に影響を与える恐れのある箇所については、工事着手前に漁業組合の同意を得ること。
- 4 工事発注後に明らかになった、やむを得ない事情により、上記により難しい場合は、発注者と受注者が協議するものとする。
- 5 使用した大型土のう袋等はサンバリングを行い、撤去時に空袋枚数を記録し確実に河川内に残さないよう管理すること。



第 3 章 その他

- 1 現着手は出水期（～10月20日）以降とすること。
- 2 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
- 3 事前に関係河川漁協と協議を行い、同意書等の承諾を得ること。

